

2009年8月12日

世界のこども日本語ネットワーク推進事業 第3回「海外教師日本研修プログラム」参加者決定

財団法人 博報児童教育振興会(所在地:東京都港区 理事長:近藤道生)は、“世界のこども日本語ネットワーク推進事業”の最初のプログラムである「海外教師日本研修プログラム」の参加者を決定しましたので、お知らせいたします。

- ・ 有識者で構成された審査会にて厳正な審査の結果、10カ国の初・中等教育機関において日本語を教えている外国人教師 13名が選出されました(※別紙1参照)
- ・ 本プログラムは、独立行政法人 国際交流基金他の協力により実施されます

◆ 実施スケジュール

- 2009年10月30日～11月9日
(入国予定日:2009年10月29日 / 出国予定日:2009年11月10日)

◆ 来日後の研修概要(予定)

- 日本語スキル向上・新しい視点での教授法研修
- 日本の伝統文化・生活を知る各種体験カリキュラム
- 日本の中学校訪問
- 授業で活用できる教材や生教材の収集
- 成果共有(研修を通して発見・獲得したことを参加者間で共有) 他

【事業ならびにプログラム概要】

本事業は、日本語による異文化体験や国際交流を通して、海外の児童・生徒の日本への理解と、日本の児童・生徒の国際人として成長する機会の提供を目的に、2007年3月より開始いたしました。(※別紙2参照)

本事業を構成するうちの1つである同プログラムは海外での日本語授業における環境整備や教材支援のため、まず海外の初・中等教育機関で日本語を教えている教師を日本へ招待するもので、今年で3巡目(3回目)を迎えました。

このプログラムを経て、その教え子である海外の児童・生徒と日本の児童・生徒との交流へとつながっていきます。

(財)博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省(当時)認可の財団法人として1970年に設立されました。

当財団では、児童教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」、「日本語海外研究者招聘事業」、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動をしています。

また、これらの事業から生まれた成果を広めるために、イベントの実施や、通信誌の発刊などの広報活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

財団法人 博報児童教育振興会

担当 谷 / 内海

TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016

E-mail: hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

事業 HP: <https://www.hgnet.jp/>

(別紙1) 第3回「海外教師日本研修プログラム」参加者一覧

氏名	所属機関	国名(都市名)
ルチ ジャイン	Delhi Public School, Mathura Road	インド (ニューデリー)
コランバ パスクル メイトウリゲ チャートウラヤー マドウラバーニ	Princess of Wales' College	スリランカ (モラトゥワ)
イローシャー ディラーニ ウイジェーウィクラマ ラタナーヤカ	Sirimavo Bandaranaike Vidyalaya	スリランカ (コロンボ)
タンヤラット ギウドム	Ratchaborikanukroh School	タイ (ラーチャブリー)
パッタラワン マートーング	Damrongratsongkroh School	タイ (チェンライ)
アスル アルトウンタシュ	Canakkale Milli Piyango Anadolu Lisesi	トルコ (チャナッカレ)
ブイドシュネー リツイシャーク ヴィクトーリア リタ	Viranyos Altalanos Iskola	ハンガリー (ブダペスト)
レー ティ トウ ハン	Phuong Nam Secondary School	ベトナム (ハノイ)
伍 家璧	Sekolah Menengah Jenis Kebangsaan Katholik, Petaling Jaya	マレーシア (プタリン・ジャヤ)
タブハイ オユンゲレル	Mongeni Complex School	モンゴル (ウランバートル)
バルブレスク アンドラダ イワナ	Colegiul National "Ion Creanga", Bucuresti	ルーマニア (ブカレスト)
オクサナ バジュリキナ	Moscow State Linguistic Lyceum 1555	ロシア (モスクワ)
ポポーワ ユーリヤ	Municipal General Education Institution School No.2	ロシア (エカテリンブルク)

(別紙2)「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」事業構造について

グローバル化が進む社会においては、お互いがそれぞれの国の生活や文化の多様性を理解し、認め合うことが重要と考えてます。

この事業は、日本語を通じた異文化体験や国際交流を通して、海外の児童・生徒の日本への理解と、日本の児童・生徒の国際人として成長する機会提供を目的とした4つのプログラムで構成し、これを一定のサイクルで実施する構造となっています。

◇ 海外教師日本研修プログラム(海外日本語授業環境整備助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)の日本語教師(日本人を除く)を日本に招待し、研修会の実施など授業環境整備に向けた支援を行う。

◇ 海外児童日本体験プログラム(日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招待し、日本の先端技術や伝統芸能などの文化・社会体験と、学校訪問などの交流を通じた日本語・日本文化への理解と関心の向上を図る。

◇ 日本児童海外体験プログラム(日本児童・生徒の海外異文化体験助成)

日本の児童・生徒の海外訪問を支援することで、同世代の海外の児童・生徒との日本語での交流と、異文化体験を通じて日本語・日本文化の再認識、および国際人としての自覚醸成を促進する。

◇ Webプログラム“HGN”(Webを通じた相互コミュニケーションの推進)

国内外の教師や児童・生徒などに向けたコミュニティサイト。実際に行った交流・体験プログラムの内容紹介、日本語教育や日本文化等についての情報提供、また交流の場として展開する。

◆ 事業構造図

